

2016年8月1日 掲載 物流ニッポン

「経営のヒント」聴く

山形ト協内陸支部

第一貨物社長が講演



【山形】山形県トラック協会の内陸支部（熊沢貞二支部長）は7月20日、第一貨物（山形市）の武藤幸規社長を講師に招き、会員セミナーを開いた。武藤氏が地元同業者の前で講演するのは珍しい。

熊沢支部長が「武藤社長との出会いは二十数年前、私が青年部会長の時代に、山形ト協の会長を務めてい

た。その時に、膝を交えて青年部会長の話を聴いていた。今日は、日本を代表する物流企業の社長として、業界の未来について講演をいただく。生き残る上で、ヒントになる話を聴けると思う。明日からの事業経営に生かして欲しい」とあいさつ。

武藤氏は「物流業界の未来を展望する」のテーマで、日本経済の現況から今後の見通し、それに伴う物流業界の現状と課題、将来予測などを語った。この中で、

日本経済の現況について語る武藤社長

物流事業の活路として①競争力の確保（差別化、共同化、人材確保）②イノベーションとマーケティング（新しい価値の創造、情報武装によるネット流通への対応）——など、将来に向けてのキーワードを紹介した。

最後に質疑応答も実施。受講した会員からは「一つひとつ重みのある話だった。今後に向けて参考にしたい」「初めて武藤社長の講演を聴いた。言葉を選びながら話していたのが印象的。ありがたかった」などの声がかれた。

（黒田秀男）